

## 「リヨセル」というサステナブルな素材をご存じですか？

リヨセルとは、ユーカリなどの木材パルプを原料とした環境に優しい再生繊維です。そのなめらかな肌触りと美しい光沢感はシルクに匹敵するともわれています。環境への優しさと機能性を兼ね備えた、サステナブルな素材として注目されているリヨセルについてご紹介します。

### ■ 環境への優しさ

リヨセルが注目される理由のひとつは、環境に優しい製造プロセスです。

計画植林された森林から採取されるユーカリなどの木材パルプを特殊な溶剤に溶解します。溶解液をろ過して不純物を取り除き、細いノズルから押し出して繊維状にします。押し出され繊維を凝固させ、リヨセル繊維が完成します。

この製造工程で使用される溶剤は、ほとんどが回収・再利用されるため、廃棄物が少なく環境負荷が低いとされています。



### ■ リヨセルの特徴

【光沢感とドレープ性】

リヨセルの表面は、なめらかで、柔らかくドレープ性があります。また、光沢感もあり、上品な見た目が特徴です。

【吸湿性・放湿性が高い】

水分を効率よく吸収し、放出するため、素早く乾かすことができます。さらっとした心地よい着心地をキープするので、快適に着用できます。

【静電気が起きにくい】

吸湿性が高いため、静電気が発生しにくいです。

### ■ Real Stoneの商品

Real Stoneでは、綿とリヨセルを混紡した素材を使った商品があります。



ロングスリーブトップ



バタフライスリーブトップ

どちらもBAJ ONLINE SHOP限定で販売中。

柔らかく、ずっと着用していただく着心地です！

### ～編集後記～

BAJ佐竹さんのメイン記事を読んで、世の中には自分が知らない素材がこんなにたくさんあるんだと改めて実感しました。リヨセルという言葉自体初めて耳にしたのですが、記事をきっかけにリヨセルやそれに似た素材を調べてみて、その優れた特徴に驚かされました。今回の記事を読んで、素材に興味を持つきっかけになれば幸いです。

### リヨセルとの比較

「リヨセル」は再生セルロース繊維の中でも、特に「環境に優しい製造プロセス」と光沢感と柔らかなドレープ性などの「高品質な仕上がり」が特徴です。

よく比較される素材に「ビスコース」「モーダル」があります。

これらは全て再生セルロースですが、大きな違いがあります。

「ビスコース」はシルクのような滑らかさがありますが、製造プロセスにおいて、硫化炭素や水酸化ナトリウムを利用するため、化学廃棄物が多く出ます。

「モーダル」はリヨセルよりも更に柔らかいことが特徴です。ただし、製造プロセスにおいてはリヨセルほど厳密でない場合も多いそう。

リヨセルが繊維として際立つ強みはメインの記事の通りですが、こうして見るとリヨセル素材のファッションを身にとってみたいですね。



今月のこの人

BAJ

山本 絢子さん

日本で1年間に出るゴミの総排出量は、4,274万トン。東京ドームに例えると、約115杯にあたるそうです。ゴミを燃やすと多くの二酸化炭素が発生し、地球温暖化の原因になります。そのため、ゴミの量を減らすことは、地球に優しい取り組みになります。

私は、ゴミを少しでも減らす為に、使わなくなった古い布を小さく切って、ティッシュペーパーやキッチンペーパー代わりに使用しています。100%使わないということはなかなか難しいのですが、古布を再利用する事でペーパー類の使用頻度がとても減りました。

また、生ゴミはコンポスト（落ち葉や生ゴミなどを、微生物や菌の力で分解発酵して堆肥を作ること）を利用して処分しています。そうすることで生ゴミを捨てる手間が省け、ビニール袋の削減にもなります。

小さな日々の積み重ねだとしても私たちひとりひとりが意識し実践することで、地球環境の改善につながると信じています。

\* 次回はこの人 桑原 綾さん